

本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年1月18日～2024年3月31日

【研究課題】 本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討

【研究目的】 急性心筋梗塞では、急性期の早期治療として再灌流療法の有効性エビデンスは確立し、本邦でも広く普及しています。心大血管疾患リハビリテーション（以下、心リハ）は、急性心筋梗塞患者の予後を改善するとされていますが、再灌流療法の進歩に伴い入院期間は大幅に短縮しています。また、脳卒中と循環器病克服第二次5か年計画が発表され、その中でも急性期からのリハビリテーションの重要性が強調されています。現在の状況での急性心筋梗塞患者における心リハの予後改善効果を再評価し、問題点を抽出後、その対策を検討し更なる普及に努める必要があります。

【研究意義】 今回、大規模なDPC（包括医療支払制度）データと別途実施する心リハ学会研究グループによる予後を含む調査データを合わせることにより、[研究目的]の項で述べた、心リハの効果や保険診療における妥当性を検討するための後ろ向きレジストリ研究を実施します。これにより、心リハの量や質による急性心筋梗塞後の予後改善効果を確認し、費用対効果等の問題点を抽出し、その対策を検討することで、急性心筋梗塞患者さんの予後改善に資するものと考えています。

【対象・研究方法】 2014年1年間に日本循環器学会が毎年循環器専門研修施設・研修関連施設を対象に実施している「循環器疾患診療実態調査(JROAD)」で収集された急性心筋梗塞患者（約5000例）を抽出します。抽出条件は、2019年度心リハ学会認定研修施設の39施設と、年間50件以上の急性心筋梗塞が入院している施設から無作為に抽出します。収集される情報は、入院中の経過、治療内容、検査所見、心臓リハビリテーション施行の有無、退院後の経過、心臓リハビリテーション継続の有無等です。

【研究機関名】 帝京大学ちば総合医療センター（福岡大学を主幹とする多施設共同研究です。）

【個人情報の取り扱い】 収集した試料・情報は、加工どのデータが誰のものか分からなくすることした上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。研究終了後、当院でのデータ抽出の際に作成された、研究対象番号と個人情報との照合に用いる対照表は、帝京大学医学系倫理委員会事務局に提出され、帝京大学臨床研究センターにおいて10年間保管された後に、読み取り不可能な状態まで破壊された上で適切に破棄されます。

【その他】 この研究へのご協力は、患者様ご自身の自由意思に基づくものです。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。研究への参加を希望されない患者様の情報は研究に使用しませんが、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：氏名 中村 文隆 職名 第三内科 主任教授
研究分担者：氏名 吹野 恵子 職名 第三内科 講師
所属：帝京大学ちば総合医療センター 第三内科
住所：市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) [内線 2013]